

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2019-130190(P2019-130190A)

【公開日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2019-032

【出願番号】特願2018-16831(P2018-16831)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月2日(2020.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定条件の成立により抽選を行い、該抽選の結果が当りの場合に遊技者に所定の利益を付与するようにした遊技機であって、

遊技の進行を制御する主制御MPUを有する主制御部と、

該主制御部を収容する主制御基板ボックスと、

該主制御基板ボックス内に設けられると共に前記抽選の当り確率に関する設定値を設定可能な設定スイッチと、

前記主制御基板ボックスは、

ベース体と、

該ベース体に被さるカバー体とを備えると共に、該カバー体と前記ベース体の間の内部空間に前記主制御部を収容するものであり、

前記設定スイッチは、取付部と、該取付部の頂部形状より小径なシリンダ状で設定キーにより回動操作される設定キーシリンダと、を有すると共に、前記カバー体に開設された開口部から前記設定キーシリンダの頂部が外部に臨むように形成されており、

さらに前記設定キーシリンダは、前記カバー体の前記内部空間側に突設された受筒部に嵌め合わされ、

一方、前記受筒部の反開口部側の筒端部を、前記設定スイッチの設定キーシリンダの外側にはみ出す前記取付部の頂部に近接させることにより、該受筒部と設定キーシリンダの間の隙間に差し入れられた異物の前記内部空間内への通過を阻害し得るようにしたことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記に鑑みなされたものであり、その目的は、不正行為を抑制する遊技機を

提供することにある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記の目的を達成するため本発明は、請求項1に記載したように、所定条件の成立により抽選を行い、該抽選の結果が当りの場合に遊技者に所定の利益を付与するようにした遊技機であって、遊技の進行を制御する主制御MPUを有する主制御部と、該主制御部を収容する主制御基板ボックスと、該主制御基板ボックス内に設けられると共に前記抽選の当り確率に関する設定値を設定可能な設定スイッチと、前記主制御基板ボックスは、ベース体と、該ベース体に被さるカバーボディとを備えると共に、該カバーボディと前記ベース体の間の内部空間に前記主制御部を収容するものであり、前記設定スイッチは、取付部と、該取付部の頂部形状より小径なシリンダ状で設定キーにより回動操作される設定キー・シリンダと、を有すると共に、前記カバーボディに開設された開口部から前記設定キー・シリンダの頂部が外部に臨むように形成されており、さらに前記設定キー・シリンダは、前記カバーボディの前記内部空間側に突設された受筒部に嵌め合わされ、一方、前記受筒部の反開口部側の筒端部を、前記設定スイッチの設定キー・シリンダの外側にはみ出す前記取付部の頂部に近接させることにより、該受筒部と設定キー・シリンダの間の隙間に差し入れられた異物の前記内部空間内への通過を阻害し得るようにしたことを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、不正行為を抑制する遊技機を提供することができる。